

年度	活動実績	備考
R元	<ul style="list-style-type: none"> ●議員年金復活に断固反対の意見書を維新主導で可決し、国に提出（9月定例会）－都道府県で全国初－ ・「新たな国民負担が伴う地方議会議員の厚生年金加入に断固反対する意見書」 ・この反対表明以降自民党を中心に動いていた復活の動きが止まる ●維新主導で議員報酬30%削減の継続実施を決定（2月定例会） ・3月末で期限切れとなる30%削減を、任期中に延長する旨の条例改正を行う ●議会資料のペーパーレス化を実施（R2.2から） ・予算書・決算書等の膨大な議会資料をペーパーレス化 ・年間48万枚、16階建てマンションに相当する紙資源を削減 ●委員会の答弁者等の負担軽減（9月定例会から） ・答弁の有無にかかわらず出席してたものを、絞込みが可能な場合によっては、執行部局側の判断により出席者を限定して差し支えないこととし、質問に関係しない幹部職員が執務室において職務に専念できる環境を整えた ●本会議の一般質問の回数増を行う（9月定例会から） 任期中、議員1人当たり最低2回としていた質問機会を最低3回とし、監視機能及び政策提案機能の充実を図った ●決算審査の在り方を検討し見直しを図る（9月定例会から） ・平成30年度の決算審査から、決算特別委員会を設置しての審査を各常任委員会での審査に改め、予算と決算の審査に連動性を持たせることとした ●直面する府政の諸課題に機動的かつ効果的に対応すべく、議員団政務調査会に4つのプロジェクトチームを設置（R元.6） ・基礎自治体改革PT、ベイエリア活性化PT、子ども未来PT、教育政策パラダイムシフト推進PT ●G20大阪サミット開催（6.28～29） ・インテックス大阪や大阪城を舞台に、大阪・関西の魅力を世界に発信し、大阪・関西の知名度や都市格が向上。 ・府議会は、大阪産（もん）食材・食品や伝統工芸品の活用、国際社会で「大阪ルール」の枠組みづくりなどを盛り込んだ意見書を5月定例会で可決し国に提出した。 ●百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録（7.6） 2019年7月6日の第43回世界遺産委員会で正式に世界文化遺産に登録された。 	<p>維新はH27年から反対表明していたが府議会で過半数なく日の目をみなかった。</p> <p>R5.4.29まで延長</p> <p>いずれも維新が提案し、「議会改革検討協議会」での議論を経て実施に至ったもの</p> <p>PTは、政務調査会が特に必要と認めた特定案件について、調査研究及び立案を要する場合設置する。</p> <p>2017年11月に府・市共同で応募（他に愛知県と福岡市）。選考を経て、2018年2月に大阪開催が決定。</p>

年度	活動実績	備考
	<p>「世界の宝として魅力を積極的に発信し、次世代に引き継いでいく決意を新たにしたい」と安部首相（当時）</p>	
R2	<ul style="list-style-type: none"> ●新形コロナウイルス感染症対策で知事に緊急要望7回 時宜に適った要望を機動的に行い、知事側の適宜・適切な対応により、要望事項は概ね実現した。 ●維新府議団に「新型コロナウイルス対策府政相談デスク」を設置(R2.4) —新型コロナウイルス対策PT活動— ・府民からの相談を所属議員を通じて聞き、府の当局等と連携を密にして、正確かつ迅速に相談に対応 ●維新主導で府議報酬5割削減を実施（4月臨時会） 新型コロナウイルスの影響で苦しむ府民と同じ目線に立ち、さらなる身を切る改革が必要であると判断し5割削減を決める ●維新提出の“委員会のオンライン出席条例案”可決（5月定例会）—都道府県で全国初— ・時代や環境に適応した柔軟な議会活動の在り方を提案 ●オンラインでの質問第一号は維新議員（9月定例会） —都道府県で全国初— ・12月9日の健康福祉常任委員会（コロナ濃厚接触者のため自宅から質問） ●多様化する社会生活に対応した会議規則の整備（5月定例会） ・育児や介護のあり方等、社会生活が多様化する中、府議会としてもこれらの変化に対応したものとなるよう議員の欠席事由に関する規定を改正 ●広域一元化条例を制定（全国初）2月定例会—副首都・大阪の実現に向けて— ・過去の二重行政に戻すことなく、大阪府・大阪市一体の大阪を継承・強化 ・過去の二重行政に戻すことなく、大阪府・大阪市一体の大阪を継承・強化 ・知事の権限と責任を明確化し、大阪の成長・発展を加速（大阪・関西万博準備、うめきた2期開発、なにわ筋線、淀川左岸線延伸部、IR施設誘致等） ●早稲田大学マニフェスト研究所が毎年実施する「議会改革度調査2020」で大阪府議会は全国ランキングNO1に 	<p>緊急要望：R元が1回 R3が18回、R4が3回、これまで計22回行う</p> <p>R2年5月分の議員報酬に適用</p> <p>9月定例会の常任委員会で初の適用事例</p> <p>モニター中継で委員会室の府理事者と一問一答</p> <p>2月定例会で追加整備</p> <p>成長戦略や鉄道整備計画など都市計画の権限を知事に委託</p>

年度	活動実績	備考
R2	<p>●大阪都構想の住民投票実施（11.1） 「大阪都構想」の賛否を問う住民投票が実施され、「反対」が「賛成」を僅かに上回って否決された。 賛成：675,829（49.4%） 反対：692,996（50.6%）</p>	
R3	<p>●大阪都市計画局・万博推進局 府市共同設置議案が可決（5月定例会） ・大阪都市計画局－広域一元化条例に基づき11月に共同設置 ・2025年大阪・関西万博の準備のため11月以降の共同設置</p> <p>●維新府議団に「コロナ禍克服対策本部」を設置 ・コロナに関して府民から寄せられる疑問や要望等について、毎日、関係部署に問合せを行い迅速な対応を要求 ・専用のアカウントを開設して府民の声を収集分析し、新型コロナ関連対策の施策案等を研究・立案・レポート作成</p> <p>●新たに2つのPTを設置（3.6） ・SDGs未来都市創造PT、スマートシティ推進PT</p> <p>●維新提案の「長期欠席議員の議員報酬減額条例案」が可決（9月定例会） ・長期欠席議員に対する議員報酬の支給がたびたび問題化しているため、長期に渡り職責を果たしていない議員の報酬は、府民の信頼を損なうことのないよう減額を行うこととした</p> <p>●府議会議員のバッジを木製に ・木製バッジ導入使用の狙いは 議員一人あたり約1万円超の経費節減※ 夏季軽装時にも対応できる 大阪産木材のPR</p> <p>※従来の金属バッジ単価は22,000円⇒金属バッジと木製バッジ合わせて約8,000円に</p> <p>●維新提案の議員定数9人削減の改正条例案が可決（2月定例会） H23 H27 今回 R4 109人⇒88人⇒79人 維新府議団は3割（30人）もの議員定数削減を実行</p> <p>・府議会の人口当たり議員数が全国最少に 1位 大阪府 11万1,869人に議員1人 2位 東京都 11万611人に議員1人 3位 神奈川県 8万7,975人に議員1人</p>	<p>新型コロナウイルス対策府政相談デスク」に替えて設置 毎週1回定期開催</p> <p>材質は大阪産材（ひのき）、留め金は府内製作の磁石形式 従来の金属バッジと併用（木製は略章として使用）</p> <p>前回選挙のマニフェストに掲げた「身を切る改革」を実行</p> <p>定数・報酬3割削減で、累計で76億円を府に貢献</p>

年度	活動実績	備考
R3	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急要望や代表質問を通じ知事が緊急補正予算案を編成 ・高齢者施設を中心に感染防止に不可欠な検査キットを25万個確保し、府内3500施設への送付が決定 ・吉村知事が岸田総理に、高齢者施設の施設内療養に対する支援の拡充を要望、国から1人あたり最大30万円の支援策が提示、これに大阪府として施設内療養者1人につき1日1万円、15日を限度に追加で独自に支援することとし、国制度と併せて最大45万円の支援策が決定 ●維新提案 インターネット誹謗中傷防止条例案が可決（2月定例会） ・被害者支援のほか、誹謗中傷等の行為を繰り返さないよう加害者への相談支援体制整備を盛り込んでいる。 ●議会運営委員会の一般公開と協議の活性化 ・制限公開（府政記者会のみ）を一般公開に、また、議運理事会での事前協議制を改め委員会での“本番”協議制にした ●委員会の代表者会議を公開 ・非公開で行っていたものを公開制に改めた ●議員団に2つの調査研究会を設置（R3.12） ・農業政策調査研究会、医療政策調査研究会 大阪の農業及び医療に係る諸課題に取り組み、維新府議団から優れた政策を提言し府政に反映すべく、視察や研修会等精力的に活動 	<p>高齢者施設への緊急な支援策が必要と判断し、関係部局との議論を開始するとともに、社会福祉関係事業者等と行った意見交換も踏まえ、知事に緊急要望を行う</p>
R4	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪府の普通決算は14年連続で黒字 ・維新府政から大胆な行財政改革を実行し黒字決算にした。 ●減債基金の復元・令和6年度に完了の見通し ・財源不足を補うために借り入れた5,202億円について、H21年度から計画的に復元（R4年度：172億円復元⇒積立不足額344億円）「借り入れ」総額の9割以上を回復●減債基金の復元・令和6年度に完了の見通し ・財源不足を補うために借り入れた5,202億円について、H21年度から計画的に復元（R4年度：172億円復元⇒積立不足額344億円）「借り入れ」総額の9割以上を回復 ●維新提出 議員視察の予算廃止の条例改正案が可決！（5月定例会） ◎グリーン車・ビジネスクラス利用などの廃止 ◎常任委員会等の視察予算全額の計上廃止！ ◎視察や国際交流での海外渡航時の日当廃止！ ・このような内容を盛り込んだ条例改正案です。 	<p>府では、H13～H19に毎年度の財源不足を補うため減債基金に手を付け総額5,202億円の「借入れ」をしていた</p> <p>府議会の視察予算廃止により、今後、会派及び議員に交付される政務活動費を活用しての視察に重点を置くことになる</p>

年度	活動実績	備考
	<ul style="list-style-type: none"> ・特筆すべきことは、「視察予算の廃止」 ・委員会視察の予算廃止で年間約1,200万円超の財政効果 ●維新提出 ギャンブル依存症対策基本条例案が可決（9月定例会）－全国初－ ・ギャンブル等依存症対策を総合的かつ計画的に推進することで、府民が安心して、健康的に暮らせる社会の実現を目指す ・「大阪ギャンブル等依存症対策推進本部」の設置、対策の推進計画策定の義務づけ、施策推進の財源として「ギャンブル等依存症対策基金」の設置などを盛り込んでいる ●IR誘致に向けた取組み ・国へ区域認定の申請（R4.4） IRの誘致計画となる区域整備計画を国に申請するための議案※が、府議会と大阪市議会で同意され、府市は国に整備認可を申請した ※大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画 	

年度	活動実績	備考
	<p>コロナ対策関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ●吉村知事 全国に先駆け「大阪モデル」を公表 <ul style="list-style-type: none"> ・重症病床使用率、軽症中等症病床使用率、病床使用率等の数値を日々HPでオープン、府民全体で状況を共有 ●大阪府新型コロナ助け合い基金の創設（維新府議団が提案） <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者等の活動を応援するための基金 ●大阪府雇用促進支援金 <ul style="list-style-type: none"> ・民間人材サービス会社などと連携した緊急雇用対策、失業者を採用した事業者へ支援金を支給 ・「新たに人材を採用した事業者にお金を出しますよ」という支援金 ● 	<p>太陽の塔、通天閣で ライトアップ 基準内：緑色 警戒レベル：黄色 危険レベル：赤色</p>